

茂原市学校再編に関する住民意見交換会 議事録

【本納小学校】

- 日 時：令和3年5月9日（土）10：00～10：50
- 場 所：本納小体育館
- 参加者：21名
 - ・ 審議会委員 3名
 - ・ 教育委員 1名
 - ・ 事務局 17名

教育長	内田 達也
教育部長	中村 一之
教育部次長（教育総務課長）	佐久間 尉介
学校教育課長	金澤 勤
学校教育課主幹	宮内 智之
教育総務課長補佐	小安 宏尚
教育総務課学校再編推進室長	大橋 康博
教育総務課係長	吉野 司
教育総務課学校再編推進室主査	石田 卓也
教育総務課総務係副主査	太田 智弘
教育総務課学校再編推進室主事	紺野 晃弘
教育総務課学校再編推進室	深山 秀樹
教育総務課学校再編推進室	狩野 久志
防災対策課長	小久保 堅
企画財政部次長（企画政策課長）	木島 成浩
都市建設部次長（土木建設課長）	白井 高
土木管理課長	本間 一裕

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 茂原市の学校再編について 事務局にて資料に基づいて説明
- 4 意見交換

（以下、意見交換）

住 民 移転する場所ではガスが出る。ガスの測定は、1年に1回とか半年に1回とか決まっているのか。

佐久間次長 昨年度、本納中のガスの濃度を測ったところでは教室からは検出されず、1階の地下の倉庫、配膳室等で0.003%～0.007%という値が検出された。ガスの濃度としては一般的に危険なのは5%から15%と言われているが、非常に低い値であった。

中学校の検査では、ガスの危険な数字が出なかったが、令和3年度の予算でガス警報器を付ける予算措置をした。各普通教室、階段等も設置していく、毎年とか半年ではなく、常時検知する機械を設置するので、通年でガ

スを察知できるというような状況になる。

住 民 小学校と中学校にガス警報器を付けるのか。もし、ガスが出て警報器が鳴った場合、避難の仕方とかも中学校、小学校みんな一斉に出るというケースになるか。

大 橋 室 長 小学校と中学校の両方にガス警報器を設置する。避難については、湧出ガスの濃度が5%から15%という範囲で火気があると危険性があるが、非常に空気より軽いものなので窓を開放すると、室内の循環ができる。空気の循環を図り対応することとなる。

住 民 いわゆる理科の実験とかでも火気は使う。たまたまそういうときに爆発する可能性も0ではない。そういう時は窓を開けて全開するという事で、よろしいのか。

大 橋 室 長 警報器が鳴ったからすぐ爆発するというものではなくて、危険な濃度に近づくと警報器が鳴る。その時点で窓を開けて警報器が鳴らない状態にする、ということが大切である。

住 民 水害についての解釈はどのように考えているのか。

また、この統廃合で小学校と中学校のPTAをどう考えていくのが良いのか。例えば長南中の事例や他校の事例で、PTAを小学校と中学校でどうしたら良かったとか、何か事例があったら教えていただきたい。

佐 久 間 次 長 令和元年の大雨災害、これまで過去の大雨災害時においても、建物の周りや校舎への浸水というのは確認されていない。新たな校舎についても、1階部分の床の高さは既存の中学校の高さと一緒にしている。東側の道路と床面までの高低差は1メートル位あるので、基本的には浸水することはないものと認識している。

金 澤 課 長 長南地区の小学校中学校のPTAについては、どのような経過を辿って今どうなっている、というようなきちんとした情報がない。本納小学校と本納中学校のPTAについては、各学校で今後どのようにしていけばいちばん取り組みやすいかとか、或いは子供たちのためにどうなればいちばん良いか、進めていくと思う。教育委員会からこういうものではないので、学校の方で子供たちのことを考えた取組みをされていくと考えている。PTAの存在は子供たちにとって、また学校にとって、とてもありがたい存在であり、そういった面でもいろいろやって貰えるかなと考える。

住 民 水害について、敷地の中は安全というのはわかるが、通学路とか周りや周辺が浸水するという事はこれまでもあった。周辺も含めて何か対策があれば教えてほしい。

金 澤 課 長 令和2年度から「茂原市小中学校の対応について」ということで、基本的な統一基準を作った。気象庁から大雨警報とか洪水警報等が出た場合は、子供たちは朝6時の段階で出ている場合には市内一斉に臨時休業とする。或いは台風が近づいて来ていてそういうような警報が、前の日の夜の段階で出ている場合、夜の8時までに出ている場合には、子供たちは登校しないで

自宅で待機する、という対応をする。

住 民 今回の統合については、大賛成である。生徒数が増えれば、新学期になったときにクラス替えができるのか、誰と同じクラスになるのかなどか、先生は誰になるのかな、ドキドキしながら学校に行った。友達関係とかもどんどん変わってくるので、子ども達にはすごい刺激があっているのかな、と思っている。

令和5年に新治と統合になる。そのあと令和8年に豊岡との統合になるとこの教室で足りるのか。もう少し広い場所に日当たりの良いところにはできなかったのか。

佐久間次長 教室数については今後、新治小それから豊岡小を統合した際に資料のとおり教室数24で、十分足りるような想定をしている。

新校舎の場所について、既存中学校と小中一貫という中で、共に空き教室の利用とかを主眼として考えた際に、あそこの場所が適当であった。また、日当たり面等も考慮した中で、あの場所になった。

住 民 外から建設中の校舎見ると、少し小さいのではないかなと、見た目が気になった。今の中学校のプールを取り壊して遊具を作るという話も出たが、校舎をプールのところに作ってもらえたらよかったという思いもあった。

佐久間次長 プールについては、今後は壊して民間に委託をして授業を行っていく。体育館の脇に、遊具を整備する。鉄棒や雲梯等を入れた遊具ができる。

住 民 小中一貫教育の事例で、長南町のアンケートで「勉強は楽しくなった」とある。実際にどういうことが楽しくなって良くなったということになるのか、一貫校になることのメリットもしくはデメリット等を含めて教えていただきたい。

金澤課長 昨年の保護者意見交換会のときに、令和3年度から茂原市全体で小中一貫教育を進めていく計画をしている、という説明をさせていただいたが、その後方針を変えて、今年度は茂原市全体ではなく、本納中学校区の4校において、先進的に進めるとした。理由は、茂原市全体となると学校数も多く、実施をして良い面や課題等を小・中学校の教員がきちんと理解をした上で、共通理解して進めることが、やはり良いものに繋がっていくという考えである。

長南町のアンケート結果もあったが、いろいろなメリットがある。6年間と3年間をつなぎ、9年間をひとつのまとまりとして、何か繋がっていくという意識を強く持とうということで学習指導を図るとか、或いは中学校の先生方が小学校の子どもたちを早めにこう理解する。逆に、小学校の先生方が中学校に進学した子どもたちを見守って、適切なアドバイスができる。学習面では、「乗り入れ指導」ということで、中学校の先生方が小学校に行って授業に参加する、ということによって、専門的な話もできる。

また、中学生にとってみると、小学生と一緒に一貫教育を進めていくということは、小学生の見本となるような心も芽生える。それから、小学生が中学生にお世話になるので、感謝の気持ちを持つことにつながる。

課題点も幾つか指摘されているけれども、一貫教育を進めることによってメリット・効果が大きく期待できると考えている。

住 民 茂原のモデル校とは一体具体的にはどんなことなのか。以前にも聞いた「元気に挨拶ができる子」それがこの学校の理想なのか。

金澤課長 本納中学校区の4校については、この3年度から小中一貫教育を進めていくが、「目指す子ども像」を共有している。4校で共通して取り組んでいこうということがなければ上手くいかない。生活習慣の部分は「挨拶や言葉遣い」、学習の進め方、学習規律、学習の決まりでは「話し方、聞き方」についてしっかりやっぺいこう、というところである。ただ、挨拶や言葉遣いだけをやればよいか、ということではなくて、特に4校で力を入れて教育する項目にしよう、ということである。

そういったことを踏まえながら、今までやってなかったとかではなくて、今まで子供たちに指導してきて子供たちも一生懸命成長して、元気に成長しているが、共通事項そして地区として重点的にやっぺいこう、と決まった。友達の意見を途中でストップしないで最後まで聞いてから自分の意見を言う、ということが今まで以上に育っていくかなと、期待している。

住 民 小学校では雨になると登校班では結構送ることが多く、中学校に移転するとすると神社の駐車場とかセブンイレブンとか、になる可能性が高い。やはり送っていく時間は通勤の方、近隣の方に迷惑がかかってしまうことを考える。小中学校で登校時間をずらし、9月から時間割になっているようだが、実際は結構ちあう時間帯で、凄く通りが激しいので混雑するのではないか。

大橋室長 学校の敷地内の駐車場の整備については、学校の教職員の駐車場もあるが、保護者が送迎に使うスペースとしても考えている。それ以外には、橘樹神社さんやほのおか館の駐車場も朝の時間に使えるような形でやっぺいきたい。

あとは皆さんが同じ時間に来る、というのは混雑が予想されるので、登校の時間帯を少し分けるような形を今後考えていくことになると思う。